

3-8 情報倫理教育研究集会

本研究集会は、私立大学における情報倫理教育の振興・普及と授業内容の質的水準を高めることを目的として開催するものである。本年度は、16年7月に加盟大学・短期大学に配信した「情報倫理教育e教材」を紹介し、内容・機能の評価を行い、通用性のある教材とするための意見交換を目指すことにした。なお、本研究集会の企画・運営は、情報倫理教育振興研究委員会が対応した。

(1) 開催要項の決定と実施

プログラムは、「情報倫理教育e教材」の各テーマについて構成と内容の詳細を説明し、その上で、参加者からの改善意見・要望をとりまとめ、理想的な教材のあり方と活用方法などについて全体討議を行うことにした。

平成16年度情報倫理教育研究集会開催要項

1. 日時：平成16年9月6日（月）
2. 会場：立教大学池袋キャンパス 7号館
3. 開催趣旨

本協会では、情報社会を秩序ある社会とするためには、技術や法制度を超えた人間の心に根差す問題があると考え、人々が自己責任の中で、加害、被害を防止する情報の取り扱いを適切に行えるよう、日本で最初に情報倫理と称した教育を発足し、普及することにした。

最初は、平成6年に情報倫理の重要性を強調するため「情報倫理教育のすすめ」をとりまとめ、翌7年には、教材として体系付けを行い「情報倫理概論」を刊行した。さらに、11年には、教育を実践するためのモデルを提示するため「インターネットと情報倫理」をとりまとめた。その後5年を経た現在、被害防止、加害防止を内容とした情報倫理教育の普及に、本協会での授業モデルの開発が期待・要請されたことから、2年の歳月をかけて授業で活用いただくためのeラーニング教材を情報倫理教育振興研究委員会にて開発した。

そこで、eラーニング教材の内容について、より充実したものとするため、授業を担当されている先生方からご意見を伺い、広く教材が利活用されるよう、内容および使い易さなどについて機能を高めることにしている。また、これを機に、大学間の連携による情報倫理教育の可能性についても模索することにした。

4. プログラム

13:00 開会、趣旨説明

13:05 情報倫理教育eラーニング教材の紹介

7月中旬に配信したeラーニング教材開発にあたってのコンセ

プトおよび教材活用方法などについて、教材を提示しながら解説。

15:00 休憩

15:30 全体討議 「e-ラーニング教材の評価と活用」

教材の紹介を踏まえて、提出された意見（当日配布のアンケート用紙に回答）をもとに質疑応答を行った後、教材の改善に向けての確認および今後の改善・更新のための委員会としての取り組み、さらには、教材を活用した授業方法の工夫（ネットワークを介した授業支援など）について意見交換する。

17:30 終了

（２）開催結果

参加者は、62大学、5短期大学の81名であった。項目に関する事項、教材の表示方法・システムの動作環境等に関する事項について多くの意見が寄せられた。詳細は、資料編【資料13】を参照。以下に主な意見を掲載する。

【各テーマの内容に関する意見】

- ① 電子メール、Webなどインターネットを支える技術について基本的な説明が必要。
- ② 情報発信者の責任について（情報操作など）具体的な説明が必要。
- ③ パスワードの悪い例に加えて良い例も示すべきである。
- ④ 携帯電話からの情報漏洩についても説明して欲しい。
- ⑤ 被害防止の他、被害からの回復に関する説明も加えて欲しい。
- ⑥ 加害行為に対する刑罰などを具体的に説明が必要である。
- ⑦ 暗号化技術など専門性の高いテーマが含まれるが、人文社会系の学生には理解し難いのではないか。
- ⑧ コンピュータウィルスに感染した場合に自分も加害者となってウィルスの蔓延に加担してしまうことを掲げ、ウィルス対策も情報倫理のテーマであることを説明すべきである。
- ⑨ 著作権関連の説明が大きな割合を占めており、著作権が情報倫理の中心的なテーマであると錯覚しかねないのではないか。
- ⑩ 著作権の解説に肖像権、パブリシティ権なども取り上げて欲しい。
- ⑪ 国際理解の解説は、情報倫理のテーマとしては異質に思える。

【表示方法、動作環境等に関する意見】

- ① 主体的に学習できるよう、手動で次のページに進むようにして欲しい。
- ② 1ページの情報量が多過ぎるものがある。
- ③ スライドの文字を大きくして欲しい。
- ④ 専門用語を用いる場合には用語一覧を添付して欲しい。
- ⑤ デザイナーの協力を得てイメージに統一感を持たせた方が良い。
- ⑥ OSのバージョンによってはアニメーションの動作に不具合が生じる。

本委員会では、寄せられた意見を踏まえて教材の見直しを行い、平成17年4月に加盟大学・短期大学に配信することになっている。教材の内容については、「1-1-2 情報倫理教育の振興に関する調査研究」にて報告しているので割愛する。